



2025 年 11 月 25 日

各 位

会 社 名 ホ ク ト 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 水野 雅義
(コード番号 1379 東証プライム市場)
問合せ先 広報・IR 室 前田 哲志
(TEL. 026-259-5955)
(URL <https://www.hokto-kinoko.co.jp/>)

長野県内初 蒸気ボイラーの燃料転換で CO2 排出量実質ゼロを実現

～ホクト(株)小諸きのこセンター

カーボンオフセット都市ガス(排出係数調整型)の導入について～

ホクト株式会社(本社:長野県長野市、代表取締役社長:水野雅義、以下「ホクト」)は、きのこ生産拠点「小諸きのこセンター」(長野県小諸市)において、生産設備の燃料を A 重油から都市ガスへ転換し、CO2 排出量の大幅な削減を実現いたしました。

さらに、ガス供給元である長野都市ガス株式会社(本社:長野県長野市、代表取締役社長:中山潔、以下「長野都市ガス」)が提供する長野県内初となる「カーボンオフセット都市ガス(排出係数調整型)」の導入を決定し、これにより同センターにおける CO2 排出量が実質ゼロとなります。

本取り組みは、地域企業が連携して脱炭素化を推進する先進的なモデルケースとなるものであり、本日、2 社共同でご説明いたします。

1. 本取り組みのポイント

- (1) 燃料転換による CO2 大幅削減: 第 1 段階として、A 重油から都市ガスへの燃料転換により、ホクト小諸きのこセンターにおける年間 CO2 排出量を削減します。
- (2) CO2 排出実質ゼロ化: 第 2 段階として長野県内初となる「カーボンオフセット都市ガス(排出係数調整型)」を導入し、燃料転換後もなお排出される CO2 を相殺。これにより、きのこ生産における蒸気ボイラー燃料からの CO2 排出量を実質ゼロとします。
- (3) 地域連携による脱炭素の推進: 国内最大手のきのこ総合企業グループと地域のエネルギーインフラを支えるガス会社が連携し、低炭素から脱炭素につながるソリューション事例となります。

2. 本件の背景と目的

ホクトは、持続可能な社会の実現を経営の根幹に据え、ESG 経営を推進しております。特に、自社工場から直接排出される温室効果ガス（Scope1）の削減は、気候変動対策における喫緊の課題と認識しており、中期経営計画においても具体的な目標を掲げています。今回の取り組みは、こうした計画を達成するための重要な取り組みであり、地域企業と連携した脱炭素化の実現に向けた第一歩です。

3. 会見の概要

(1) ホクト小諸きのこセンターの燃料転換の経緯

- ・ ホクト小諸きのこセンターは、きのこの安定生産に不可欠な蒸気を供給するボイラーについて、これまで A 重油を燃料として使用していましたが、ボイラー設備更新の機会を捉え、燃料を都市ガスへ転換することを決定いたしました。

- ・ 近隣の公道まで敷設されていた都市ガスの中圧本管を、当センターまで約 700m にわたり延伸する大規模なインフラ整備により、従来の A 重油焚きボイラーから、最新のクリーンな都市ガス焚きボイラーへの切り替えが実現いたしました。

(2) ホクト小諸きのこセンターの燃料転換で期待される CO2 削減効果

- ・ 今回の燃料転換により、燃焼時の CO2（二酸化炭素）の排出量が大幅に削減され、地球温暖化防止および大気環境の保全に大きく貢献します。

- ・ 具体的な CO2 削減量は約 32.1%であり、これは日本の一般家庭およそ 250 世帯が一年間に排出する CO2 の量に値します。その他の削減効果は表 1 のとおりです。

表 1：燃料転換における CO2 削減効果(年間)

	使用量	CO2 排出量
燃料転換前：A 重油	730,000L/年	1,978.3t・CO2
燃料転換後：都市ガス	655,000m3/年	1,342.8t・CO2
削減量	—	▲635.5t・CO2
削減率(A 重油比)	—	▲32.1%

※CO2 の排出係数は A 重油：2.71t・CO2/KL、都市ガス：2.05t・CO2/千 m3

※「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、環境省が公表している「算定・報告・公表制度」の排出係数一覧より参照

※令和 7 年 6 月に環境省が発表した「令和 5 年度 家庭部門の CO2 排出実態統計調査結果について（確報値）」より、家庭用 1 世帯における CO2 排出量は 2.47t・CO2/年であることから、約 2.5t・CO2/年とし、換算したもの。

(3) ホクト小諸きのこセンター カーボンオフセット都市ガス（排出係数調整型）の導入について

- ・ ホクト小諸きのこセンターでは、A 重油から都市ガスへの燃料転換に加え、さらに踏み込んだ環境への取り組みを行いました。ホクトは、ガス供給パートナーである長野都市ガスが新たなソリューションとして策定した「カーボンオフセット都市ガス（排出係数調整型）」の供給メニューを、当社の小諸きのこセンターにおいて長野県内で初めて採用することを決定いたしました。

・ この「カーボンオフセット都市ガス（排出係数調整型）」は、ガスの燃焼によって発生する CO2（二酸化炭素）を、信頼できる第三者機関が認証したクレジットを用いて相殺（オフセット）するものです。これにより、国の「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」において、調整後の CO2 排出係数をゼロ、すなわち排出量を実質ゼロとして扱うことが可能となります。

・ 実質ゼロとして扱うことができる CO2 削減量は 1,342.8t・CO2/年です。これは、日本の一般家庭およそ 540 世帯が一年間に排出する CO2 の量に値します。※表 2 参照

・ ホクトは長野都市ガスより本メニューの提案を受けた際、ホクトが目指す「持続可能な社会と企業活動の実現」という理念と完全に一致することから、導入を決定するに至りました。地域のエネルギーを支える長野都市ガスと共に、県内初の事例として地域の脱炭素化を牽引できることを、大変光栄に思います。

・ 今回の決定は、単なる燃料の転換に留まらず、事業活動に伴う環境負荷を実質的にゼロにするという、ホクトの強い意志の表れです。ホクトはこれからも、あらゆる可能性を追求し、地球環境と共生する企業活動を続けてまいります。

表 2：カーボンオフセット都市ガス（排出係数調整型）導入における CO2 削減効果（年間）

	使用量	CO2 排出量
燃料転換後：都市ガス	655,000m3/年	1,342.8t・CO2
カーボンオフセット都市ガス （排出係数調整型）	—	0t・CO2

4. 参考資料

(1) ホクト株式会社 小諸きのこセンター 概要

所在地：〒384-0093 長野県小諸市大字和田 483-12

従業員数：114 名

生產品：生どんこ



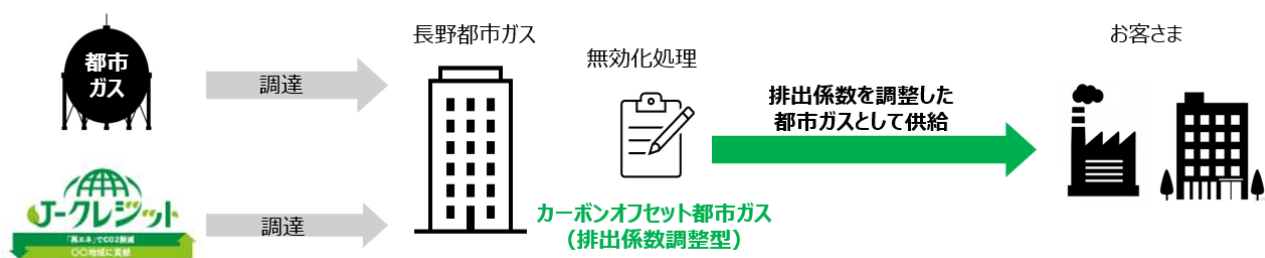
(2) 各社概要

会社名	ホクト株式会社	長野都市ガス株式会社
本社所在地	長野県長野市南堀 138-1	長野県長野市鶴賀 1017
代表者	代表取締役社長 水野 雅義	代表取締役社長 中山 潔
事業内容	きのこの研究開発、生産、販売	都市ガスの製造・供給・販売、ガス機器の販売等
ウェブサイト	https://www.hokto-kinoko.co.jp/	https://www.nagano-toshi-gas.co.jp/

(3) カーボンオフセット都市ガス（排出係数調整型）の概要について

「カーボンオフセット都市ガス（排出係数調整型）」は、都市ガスの使用により発生する CO2 排出量を、他の場所での温室効果ガス削減・吸収活動によって創出された CO2 クレジットで相殺（オフセット）する仕組みを取り入れた環境配慮型の都市ガスです。都市ガスの燃焼による CO2 排出量を J-クレジットで相殺することで、実質的な排出ゼロを実現します。企業は、温室効果ガス排出量の削減目標（Scope1）達成に貢献でき、ESG 評価や脱炭素経営の推進にもつながります。

供給スキームのイメージ



※J クレジット制度

「J-クレジット制度」は、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの活用、森林管理などによって削減・吸収された温室効果ガスの量を、国がクレジットとして認証する制度です。環境省・経済産業省・農林水産省が共同で運営しています。

以上